# Sazerac、Au Vodka買収で英国での存在感を強化

この買収で、ウォッカとレディ・トゥ・ドリンク（RTD）酒類で世界展開を狙う急成長中のウェールズ発ブランドが加わる。

2026年9月15日（火）



Sazeracは、2015年にウェールズのスウォンジーで創業された急成長中のウォッカおよびレディ・トゥ・ドリンクブランド、Au Vodkaを買収した。これは、米蒸留酒会社である同社の英国での地位を強化し、Auの海外市場での展開を広げることを目的とした取引だ。金銭条件は公表されなかった。

この取引により、英国で最もよく知られた新興スピリッツブランドの一つが、Sazeracのグローバル・ポートフォリオに加わる。大手飲料グループが、買収と自社ブランド育成の両面で成長を模索し続けるなかでの動きだ。Sazeracは、英国は同社にとって重要な市場だとし、この買収はブランドへの投資と国際的な存在感の拡大を進める継続戦略の一環だと説明した。

Au VodkaはCharlie MorganとJackson Quinnが立ち上げ、後に放送司会者でDJのCharlie Slothが投資家として加わった。ブランドは特徴的な金色のボトルと、混雑したウォッカ市場で際立つことを後押ししたマーケティング手法を軸に独自性を築いてきた。同社によると現在の従業員数は80人超で、英国全土に加え、増え続ける海外市場でも販売している。

Morgan氏は、この売却は南ウェールズでシンプルなアイデアから始まり、プレミアム・ウォッカとレディ・トゥ・ドリンク製品の主要ブランドへと急成長した事業にとって、次の段階を示すものだと述べた。Sazeracの傘下に入ることで、単独では実現できない速さでより多くの市場に進出しつつ、成功の要因となった特長は維持できるはずだとした。

Sazeracのジェイク・ウェンツ社長兼最高経営責任者（CEO）は、同社はAu Vodkaを長年高く評価しており、2015年以降のその成長はスピードと規模の両面で異例だと見てきたと述べた。今回の買収によりSazeracは英国でより強い立場を得ると同時に、同社の傘下でAuがより広く世界に成長する道も開かれるとした。

この取引は、より広い飲料業界にとっても重要だ。ウォッカとレディ・トゥ・ドリンク（RTD）酒類ですでに競争が激しいなか、また一つ認知度の高いブランドが大手国際オーナーの手に渡ることになるからだ。英国では、この組み合わせにより、棚スペース、バーでの採用枠、流通面での注目をめぐって競合するスピリッツ供給業者への圧力が高まる可能性がある。さらに、Sazeracが市場全体の交渉で既存製品と並べて提案できるブランドをもう一つ手に入れることで、卸売業者、小売業者、ホスピタリティ事業者にも影響が及ぶ可能性がある。

Auは、Buffalo Trace Bourbon、BuzzBallz、Paul John Single Malt、Fireball Cinnamon Whisky、Southern Comfort、SVEDKA Vodka、Myers’s Rum、Paddy’s Irish Whiskeyなどを含むSazeracの幅広いポートフォリオに加わる。Auを加えることでSazeracはウオッカ分野で新たなブランドを得ると同時に、レディ・トゥ・ドリンク分野への関与も拡大する。この分野は、若い消費者や利便性を重視する場面を求める多くの飲料企業にとって重要な成長領域となっている。

今回の買収は、Sazeracの長年の成長戦略も示している。同社は継続的な投資、長期的なブランド開発、選択的な買収を組み合わせて拡大してきた。英国での最新の動きは、国際的な飲料グループにとって最も競争が激しく、戦略的重要性も高い市場の一つで、なお規模拡大の余地があると見ていることを示唆している。とりわけプレミアム・スピリッツやフレーバー付きのパッケージ酒類商品でその余地は大きい。

この合意は、Sazeracをめぐる別の最近の動きの後にまとまった。同社はBrown-Formanに対し、事前の打診なしに接触したとされるが、その試みは拒否された。そうした背景の中で、Auの買収はよ

り伝統的な拡大策となり、英国ですでに定着しており、それでも海外では成長余地のあるブランドをSazeracに与えることになる。

Au Vodkaにとって、所有者の変更は、より広い流通、より強い事業運営支援、輸出市場へのアクセス改善につながる可能性がある。Sazeracにとっては、明確なアイデンティティ、既存の消費者基盤、そしてイメージ、マーケティングの到達力、流通戦略の実行力が大きな差を生む酒類市場の一角への足場を得ることになる。この買収はまた、主要スピリッツグループが自国市場を超えて展開できるブランドを引き続き争奪しているなかで、既存の地元での認知度を持つ英国発のラベルを加えることにもなる。